

「生徒に感謝」

校長 菊地 裕幸

この4月に、新任校長としておと高に着任し、ありがたい学校の姿として「夢を語り感動があふれる学校」を目指し、地域の皆様方からの多大なる御支援と御助言いただき、本校生徒に身に付けさせるべき資質・能力を育むための教育活動を教職員一丸となり取り組んでまいりました。気が付けば師走を迎え、令和5年(2023年)も終わろうとしております。今年の夏が猛暑であったことも忘れかけるほど季節は順調に進み、音威子府は一面雪景色、極寒の中となっております。

先月、11月3日(金・祝)文化の日に、「音威子府村文化祭」として、村の文化振興及び発展することを目的に公民館を会場に、村内の文化団体及び村民の文化作品の展示や芸能発表が行われました。本校生徒の木工芸や絵画等の作品展示はもちろんのこと、本校教員が制作した作品も展示され、地域の方々の目に触れていただきました。芸能発表では、生徒は司会進行と軽音楽部による演奏を披露するなど、当日の運営と出演で文化祭を大いに盛り上げました。その前日の11月2日(木)には本校寮生会の企画として、「おといねっぴ祝祭」が実施され、ゲーム大会やパフォーマンス発表などを通し、生徒同士の親交を深めました。祝祭では、有志バンドの発表もあり、なんと生徒たちから私へ「一緒にやりましょう!」との声かけをいただき、今年の阪神タイガースの優勝にもちなみ、「A.R.E」というバンド名のもと(※ちなみに「A.R.E」は、2023ユースキャン新語・流行語大賞の年間大賞に選出されました!)、1曲披露しました。生徒たちと一緒に何かを取り組むことは、私が学級担任をやっていた以来なので約10年ぶりです。生徒と直接関わり、目標に向けてお互い試行錯誤し努力する過程は、あらためて教職に対する魅力ややりがいを感じさせてくれる出来事となりました。来年は、村文化祭にも出演しようと虎視眈々と狙っております。

さて、本校生徒の近況ですが、3年生の進路状況については、11月末現在、就職希望の生徒5名全員が各事業所から内定をいただいております。進学希望生徒31名中24名が合格、5名が年明けの大学入学共通テストに臨み、希望の進学先の合格へ向け努力を続けているところで

す。また、卒業課題に取り組み、これまで学んだ知識・技術はもちろん、自身の経験や研ぎ澄まされた感覚などを生かし、鋭意制作中です。1、2年生はそんな3年生の姿を見て感じ、将来へ備えているといったところです。

今夏から感染拡大が続く季節性のインフルエンザやこれまでの新型コロナウイルスの影響により、全道の多くの学校で学級閉鎖や学年閉鎖などの措置が講じられており、感染収束の兆しが未だ見えてこない状況にあります。本校においては、引き続き、感染の状況を的確に捉え判断し、感染拡大予防に必要な措置を講じ、教育活動の継続を目指します。保護者の皆様並びに地域の皆様におかれましても健康に留意され、新しい年を迎えられますことを願っております。

来年も、本校の教育活動について御理解と御協力をくださいますようお願い申し上げます。



「一見ひかるさんに、インタビュー!」 トビタテ!留学JAPAN生徒取材

12月6日(水)放課後、名寄高校にて、同じく「トビタテ!留学 JAPAN」で海外留学する名寄高校2年生の生徒さんとともに、取材を受けました。

記者: まず自己紹介と留学先を簡単に説明してください。

一見: はい。音威子府美術工芸高等学校1年生の一見ひかると申します。私は1月8日からイタリアのフィレンツェに2ヶ月間留学させていただきます。

記者: 今回留学を決めた経緯や理由について教えてください。

一見: 留学に興味を持ったきっかけは、父がいろんな国に留学していて、その体験談を小さい頃から聞いていて、すごく留学に興味がありました。小さい頃からものすごくも



のづくりに興味があり、今の高校に入ったのもその理由なんです。ものづくりを学びたいと思っていました。

イタリアは木や石などといった自然素材を多く使った家具が多くて、有名家具ブランドも多いのが特徴です。

また、イタリア人は世界で一番古いものを捨てられない民族だということをネットで見かけ、古くから代々受け継がれている技術をイタリアで学べるのではないかなと思っ留学することにしました。

記者: 学校では今、木工を中心に学んでいるのですか?

一見: そうですね。はい、部活動も今工芸部に所属していて、授業とかでも、勉強させていただいてます。

記者: 今回の留学を経て今後どのようなことをしたいですか?

一見: はっきりとは決まっていなかったんですけど、自分の将来のことについて考えていく過程で、木工芸で国際交流ができればいいなと思い、その活動の中心になれたらいいなと思いました。

記者: 留学先でやりたいことで、具体的に何か考えてることがあれば教えてください。

一見: 私はイタリアのフィレンツェに、現役の職人さんのアトリエに学びに行くのですが、その他には、フィレンツェ市内で開催される蚤の市では昔からあるとても古い家具や歴史のある作品など、中には中世時代のものが出品されることがあるので、歴史のある作品を探しに行き持ち主の方にインタビューしたりイタリアにはその美術館とかがたくさんあるので、そういうところに行ったりして、その歴史的な作品を探してインタビューするという活動もしたいと思っています。

記者: 留学に向けてどのような準備をしていますか?

一見: 私は他国から学びに来る人たちとシェアハウスで生活する予定です。シェアハウス

には同世代の人はいないようで、20歳代など少し年齢が上の方が多く聞いています。今はイタリア語の勉強ももちろんしていますが、いろんなところで1人で出かけていて滞在するなどして1人で旅行する練習をしています。

記者: 留学まで1ヶ月ぐらいですが今の心境は?

一見: すごく不安もあるんですが、もうずっと憧れていた留学で初の海外経験でもあるので、すごく楽しみだなという気持ちです。

記者: 職人さんのところに行くということですが、特に吸収してきたいことは?

一見: 日本とイタリアの技術・道具の使い方の違いはもちろん学びたいのですが、とくにイタリアで古くから伝わるそ伝統的な技術を学びたいなと思っていて、その知識や技術を吸収して、日本に戻って広めていきたいなと思っています。

記者: 留学ですから「学」というところはあるんですが、それ以外の時間で楽しみたいことは何ですか?

一見: 他の学生さんたちと、日本の伝統的な工芸品例えばコマとかだるま落としとかを一緒に作って、その実際に沿って遊んでみて、その日本の文化とか魅力に触れてもらいたいなと思っています。あと、その他の他の学生さんが生まれた国の伝統工芸品とかも、教えて欲しいなと。木工を通じて交流できたらいいなと思っています。あと、ちょっと関係ないんですが、ピザが食べたいです。

記者: 本日はありがとうございます。ぜひ良い経験を持ち帰ってください。

一見: はい。ありがとうございます。



※トビタテ!留学 JAPAN とは?

日本の若者が、海外留学に自ら一歩を踏み出す機運を醸成することを目的として、2013年度から高校生対象・大学生対象の2種類で実施している。2020年度までの7年間で約1万人の高校生を派遣している。

現在、高校生の留学・第9期(第二日程)の募集告知が始まっており、4月から応募を受け付ける。